クイズ まちがいさがし 番外編 めいろ

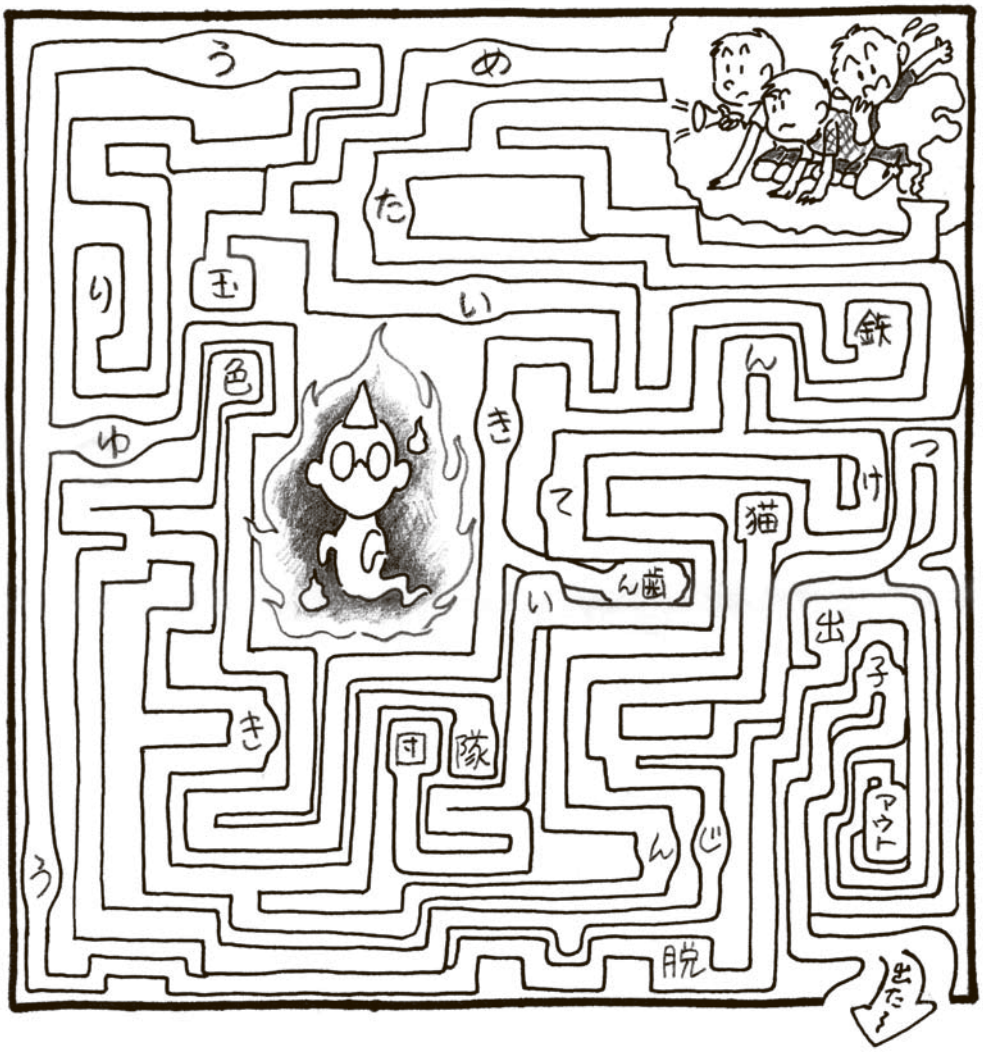
今回は番外編！
めいろでゴールを目指します。めいろをたどっていくと、一つの言葉が出来上がります。その言葉が分かった方のうち、抽選で10人の方に図書カードをプレゼントします。

秘書広報課 ☎66◆1145

応募方法
ハガキまたはファクスに①答え（めいろで出来上がった言葉）②住所③氏名（ふりがな）④年齢⑤電話番号⑥広報紙の感想、ご意見などを書いて秘書広報課（〒443-8601 FAX66◆1190）へ。当選者は広報9月号に掲載します。

とうふねこ座：市川雅子 画

応募締切 7月15日（金）

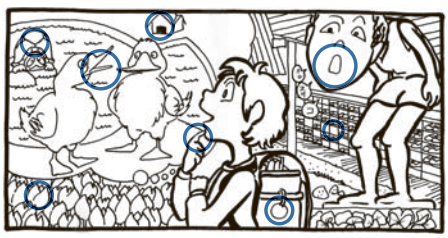


学校のふしぎ話⑥
『ある小学校の体育館』

学校には2つの顔があります。
1つは人間たちのエネルギーにあふれる明るい昼の顔。
もう1つは、人間の知らない夜の顔。
蒲郡には、この2つの顔を見ることができる不思議なみかん仙人がいるそうです。

昔、ある学校の体育館の床下には、おばけの迷宮があったという。
日曜日の朝、三人の男の子たちが学校へやって来た。
三人「あれ、みかん仙人だ、おはよう」
みかん仙人「おはよう、きじっ子たち今日はなんじゃ？」
「おれたち体育館の迷宮を探検に行くのだ！」「へへ、おばけを見つけに行くの♥」「でも・ちょっと怖い～」
みかん仙人「ほほー、気をつけてな」
男の子たちは体育館の下のすきまから床下へ潜って行った。中は四つんばいでないと動けないほど狭い、そして真っ暗だ。土台のコンクリートが碁盤の目のようになっていて、まるで迷路のようだ。
「あれ、ここも行き止まりだ」「こっちに行ってみまい」「ちょっと待って よ～さっきからなんか同じところを回っているような気がせん？」「やっぱり、ここはおばけの迷宮なんだ」「あのさーなんとなく男の人にずっと見られているような……ゾクゾクするし」
「お・ば・け～？」
バタバタバタ……三人は四つんばいでどう走ったのか、やっと床下から出ることができた。
みかん仙人がにこにこして待っていた。
「お帰り、楽しかったかい？そうじゃ、探検好きの君たちに未来の生徒たちの話を伝えよう。この学校の教室には学級プレートの他にもう一枚木札がかかっていて、その木札には病室番号？が書いてあるそうじゃ。その中の三〇三号室はいわくつきで、絶対教室にできないと言われている幻の教室だそうじゃ。」
「おお～」
思わずぶるっと震えた子どもたちの後ろを不思議なモヤが通り過ぎて行った。

◆5月号の答え



5月号当選者　応募総数　53通　正解者　51人（50音順・敬称略）
金平町　足立りの・三谷町　伊藤高康・形原町　稲吉江梨圭・三谷町　梅田涼汰・本　町　榊原正人
豊岡町　佐藤にこ・拾石町　大丸明子・竹島町　長谷川美明・豊岡町　牧野　勇・拾石町　村松里紗